

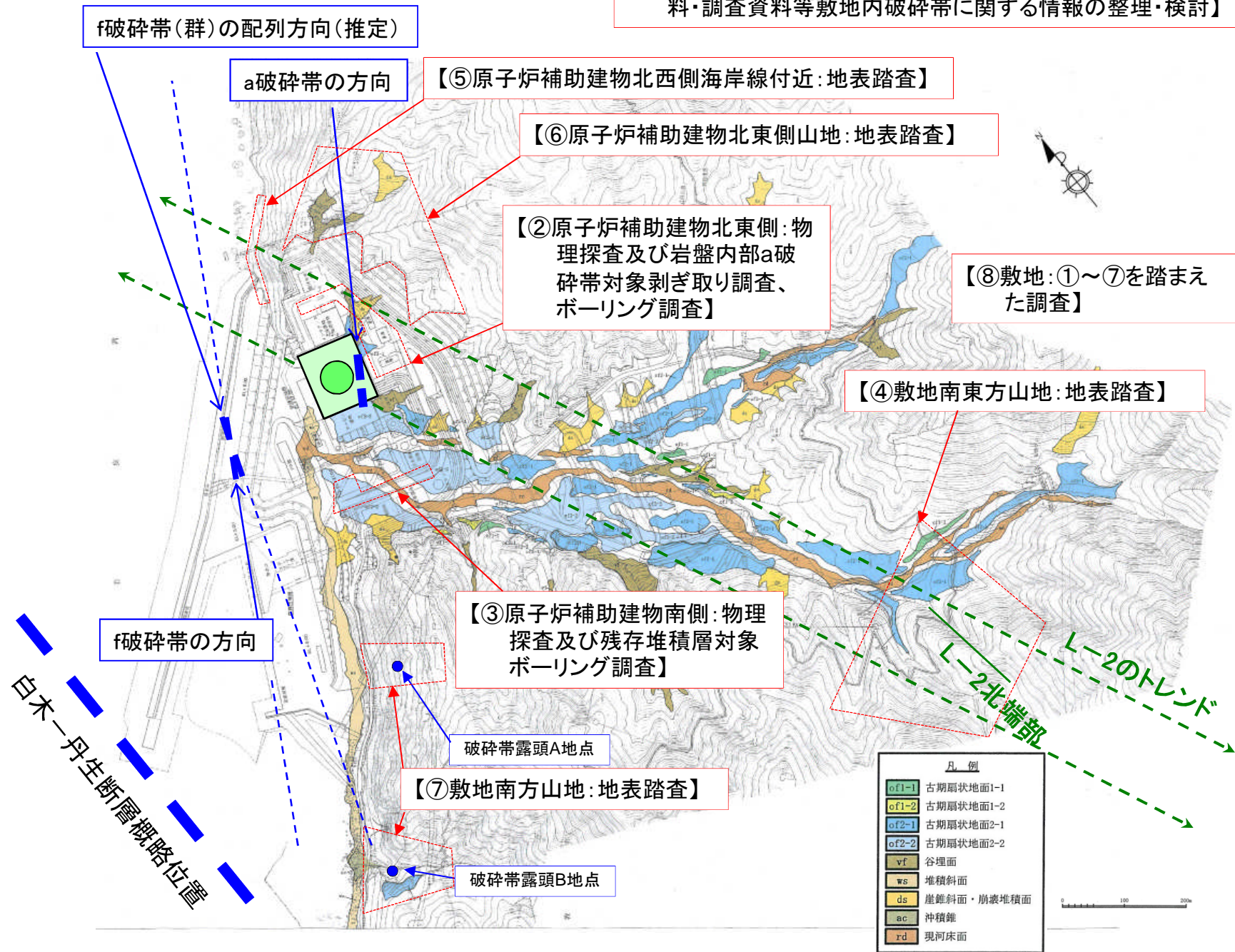
高速増殖原型炉もんじゅ敷地内破砕帯追加調査計画の概要

ポイント	調査計画位置	調査項目	調査内容	
(1) 敷地内の複数の破砕帯の性状(活動年代等)を直接確認するための適切な場所を選定した上で、当該場所における必要な調査(破砕帯内物質の年代特定や上載層の変位・変形の有無等)	①敷地(前面海域を含む。)	敷地内破砕帯に関する情報の整理・検討	・原子力機構が保有する既往工事資料・調査資料等の情報の整理・検討を行う。	
	②原子炉補助建物北東側	物理探査	・地中レーダー探査及び電気探査を行い、a破砕帯の北方延長部を探索する。	
		剥ぎ取り調査 ボーリング調査	・破砕帯の直接確認を行う。 ・破砕帯内物質の年代測定を実施する。	
	③原子炉補助建物南側	物理探査	・地中レーダー探査及び電気探査を行い、堆積層が残存していないかを探索する。	
		ボーリング調査	・ボーリングコア試料のテフラ分析等により、堆積層の年代の検討を試みる。 ・建設時のトレンチ調査における岩盤直上の上載層年代が、さらに古くまで遡れないか検討する。	
	(2) 敷地内の複数の破砕帯と敷地近傍で確認されている変動地形のL-2リニアメント及び周辺の活断層(白木一丹生断層)との地質構造上の関連性を明らかにするための調査	④敷地南東方山地	地表踏査	L-2リニアメント北端部周辺において破砕帯を探索する。
⑤原子炉補助建物北西側海岸線付近		L-2リニアメント北方延長部において破砕帯を探索する。		
⑥原子炉補助建物北東側山地		・a破砕帯延長部を探索する。		
⑦敷地南方山地		・破砕帯露頭A地点及びB地点周辺において破砕帯を探索する。		
⑧敷地		①～⑦を踏まえた調査		・必要に応じ、破砕帯、L-2リニアメント及び白木一丹生断層との地質構造上の関連性を検討するためのボーリング調査等を行う。

※調査内容は、調査の状況によって変更となる場合がある。

追加調査計画位置図

【①敷地(前面海域を含む。):原子力機構が保有する既往工事資料・調査資料等敷地内破碎帯に関する情報の整理・検討】



凡例	
of1-1	古期扇状地面1-1
of1-2	古期扇状地面1-2
of2-1	古期扇状地面2-1
of2-2	古期扇状地面2-2
vf	谷埋面
ws	堆積斜面
ds	崖錐斜面・崩壊堆積面
ac	沖積錐
rd	現河床面

高速増殖原型炉もんじゅ敷地内破碎帯追加調査工程

平成25年3月15日現在

調査計画位置	調査項目	平成24年度							
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①敷地(前面海域を含む。)	敷地内破碎帯に関する情報の整理・検討	情報の整理・検討				既往資料整理			
②原子炉補助建物北東側	物理探査	準備	調査	解析	許認可手続、契約手続、等			調査	
	剥ぎ取り調査	物理探査				剥ぎ取り	剥ぎ取り		解析
	ボーリング調査	調査準備				掘進	掘進		
③原子炉補助建物南側	物理探査	準備	調査	解析	許認可手続、契約手続、等			調査	
	ボーリング調査	物理探査				掘進	掘進		解析
④敷地南東方山地	地表踏査	概略調査	検討	踏査			調査	解析	
⑤原子炉補助建物北西側海岸線付近		概略調査	検討	踏査			調査	解析	
⑥原子炉補助建物北東側山地		概略調査	検討	踏査			調査	解析	
⑦敷地南方山地		概略調査	検討	踏査			調査	解析	
		現場確認、情報整理		現場確認、情報整理		現場確認、情報整理		情報整理、踏査	

注) ・準備は、許認可手続、契約手続等を含む。
 ・調査内容及び工程は、調査の状況、分析測定機材の空き具合、天候によって変更となる場合がある。
 ・更なる工程短縮について継続して検討していく。

(凡例)

計画

 実績